

物語を読む力

22

解答目安時間 20分

正解数 (合格ライン3問) 6問

陳家莊の災難

金魚の妖怪に三蔵がさらわれる



三蔵を襲う金魚の妖怪

悟空と八戒が生け贄に

車遅国を出た三蔵一行は、長い旅を続け、季節はいつの間にか秋になっていた。ある日、①大河にゆく手を阻まれてしまった一行は、岸辺の陳家莊という村にある金持ちの家泊めてもらうことにした。同家では、ちょうど法事がおこなわれており、みな嘆き悲しんでいる様子。法事の理由を聞いたところ、大河に住む②妖怪が、天候を安定させるかわりに毎年生け贄を要求しており、今年も同家の③娘と、娘のいとこの男の子を差し出すことになっていた。前供養をしていたという。そこで三蔵一行が一肌脱ぎ、悟空が男の子に、八戒が娘に化けて、身代わりになった。

さっそく、豚や羊などの供物と一緒に、悟空と八戒は妖怪の廟に運ばれていった。やがて、半魚人のような妖怪が現れたが、男の子に化けた悟空は一向に動じない。妖怪は不審に思い、まずは娘から食べようとしたから、困ったのは八戒だ。思わず本性を現すと、妖怪に一撃を与えた。驚いた妖怪は、現場に2枚のウロコを残して姿を消した。

川底の宮殿に逃げ帰った妖怪は、狙いを生け贄から三蔵に変えることにした。そして、④手下の進言で、寒風を吹かせて川の水を凍らせると、先を急ぐ三蔵は、氷面を歩いて渡

ることを決意。ワナにはまった三蔵は、氷の下で待ち構えていた妖怪に、連れさらわれてしまう。師匠を奪還するため悟空は、八戒と悟浄を水中に送り、妖怪を水面までおびきよせる策を取るが、取り逃がしてしまう。

策が尽きた悟空は、観音菩薩のもとへ相談にいった。当地では恵岸行者や善財童子が出迎えてくれたが、肝心の観音菩薩の姿がない。観音菩薩は⑤にいと聞いて、悟空が見にいくと、何やらカゴを編んでいる。やがてカゴが完成するや、観音菩薩は悟空と一緒に下界にいき、カゴを大河に投げ込んで、怪物を捕まえてしまった。こうして怪物を退治すると、⑥川の主が現れ、お礼に三蔵一行を背中に乗せて向こう岸まで送ってくれた。

もんだい問題 選択欄から各問いの解答となる語句を選んでください。

① 三蔵一行のゆく手を阻んだ大河はどれでしょう?

- 黄河 ● 流沙河 ● 通天河

② 大河に住む半魚人のような妖怪はだれでしょう?

- 半魚大王 ● 灵感大王 ● 金魚大王 ● 霊感大王

③ 家の主人である陳澄のひとり娘はだれでしょう?

- 一秤金 ● 陳関保 ● 杏仙

④ 川の水を凍らせるように進言した手下はだれでしょう?

- 鯁婆 ● 精細鬼 ● 伶俐虫

⑤ 観音菩薩はどこでカゴを編んでいたでしょう?

- 紫竹林 ● 稀柿衞 ● 黄花観

⑥ 三蔵一行を送ってくれた川の主はだれでしょう?

- 巨大なエビ ● 巨大なカメ ● 巨大なコイ

1, 2, 3, 4, 5, 6 (Answer boxes)

雑学 大河に住む化け物の正体 大河に住んでいた妖怪の正体は、観音菩薩の蓮池に住んでいた金魚でした。毎日、池から顔を出して経を聞いているうちに、神通力を身につけたとされています。なお、観音菩薩がカゴで妖怪を捕まえた姿は、魚籃観音として後世に伝えられました。

